

2017

姉妹都市教育交流事業研修報告書

『 Sister City Education Exchange Project 』

Report on the Student Delegation to Encinitas



天草市教育委員会



— 目 次 —

■ 姉妹都市交流の経緯・姉妹都市の概要

P 1～

■ 研修日程

P 3～

■ 研修感想文

1 本渡中学校 (2年) 鎌田 ひかり P 5～

2 本渡東中学校 (3年) 金子 壮太 P 10～

3 稜南中学校 (3年) 浦崎 美咲 P 15～

4 牛深中学校 (3年) 如田 穂香 P 20～

5 倉岳中学校 (3年) 小林 紗也 P 25～

6 五和中学校 (3年) 長濱 勇氣 P 31～

■ 引率総括

《引率教員》 稜南中学校 教諭 大平 具子 P 36～

■ 集合写真

P 45

姉妹都市交流の経緯

エンシニタス市との姉妹都市交流は、トライアスロンを縁として始まり、昭和63年以来、旧本渡市との間で行われてきました。

この交流関係を天草市でも受け継ぐことになり、平成18年5月29日に天草市で、さらに同年9月29日にはエンシニタス市で、それぞれ姉妹都市締結調印式を行いました。

調印式では今後、行政や教育、産業、経済、消防、医療などの各分野における交流を行いながら、両市民間の相互理解と友情を深め、両市の恒久的な友好関係を樹立することを誓いました。

エンシニタス市（カリフォルニア州）の概要

◆ 位置、気候

アメリカ合衆国の西海岸に位置し、年間の平均気温は22度と温暖で、年間を通して雨が少なく（年間降雨量は230ミ程度）、非常に過ごしやすいところです。

一方、雨が少ないので水の確保が一番の問題であり、大半は北カリフォルニア川ウォータープロジェクト、コロラド川用水路やホッジ湖などから供給されています。

（天草市は、年間平均気温は16.2度、年平均降水量は1,915ミ程度）



◆ 人口

人口は、約63,000人。（天草市は、約83,200人：H29.4末現在）西海岸の中心都市ロサンゼルス市から約160km、南のサンディエゴ市から約40km程度の距離にあり、静かな住宅地として人気が高い。

◆ 産 業

農業が主体で、ハウス栽培による菊・ゆりのほか、特産のポインセチアなどが栽培されており、ロサンゼルス・ニューヨークをはじめ世界各国へ出荷されています。



◆ 商 業

新興都市であるため店舗は意外と少なく、海岸通りに面した道路に衣料品店、レストランなどがあります。内陸のほうには大きなスーパーがあり、食料品から全て整っているようです。



◆ 観 光

カリフォルニア有数のサーフスポットとして名高い「Swami's Beach」があり、サーフィン文化が色濃い。年間を通じ、多くのサーフコンテストが開催されます。



古きアメリカの雰囲気をも残すエンシニタス市は、今では、ヨガとサーフィンの街として有名です。健康に気を使う人々が多く住むことで知られており、たくさんのヨガスタジオ、ベジタリアンのレストラン、エコショップが建ち並んでいます。Surf Cityとしても正式に認定されていて、世界中からサーファーが集まる街で、海の近くに住みたいという人達が憧れる地域です。

ロサンゼルスなどの大都市に比べ治安状態が良く、落ち着いた街で、市民の心の豊かさ、温かさを感じることができます。

天草市とエンシニタス市とは、これまで培われてきた長い歴史の中で大きな違いはあるものの、海に面した自然環境や落ち着いた住宅街など、よく似た環境であると言えます。

Monday, July 31

7:00am Depart Amakusa by official car for Fukuoka Airport
 10:00pm Arrive at Fukuoka Airport
 0:55pm Depart Fukuoka by NH2144 for Narita International Airport
 2:50pm Arrive at Narita International Airport
 5:05pm Depart Narita by NH006 for Los Angeles Intl' Airport

~ the international date line ~

11:25am Arrive at Los Angeles Intl' Airport
 Depart for City Hall
 4:00pm Delegation arrive at City Hall
 4:00-4:30pm Welcome reception (Poinsettia Room)
 Meet host families, Host families take home

Tuesday, August 1 -Meet the Mayor and Downtown Encinitas-

1:00pm-2:15pm City hall visit and meet the Mayor
 2:30pm-4:45pm Walking tour of downtown Encinitas, including Self
 Realization Fellowship Meditation Gardens,
 Shopping at Hansen Surf, meet editor of Encinitas
 Magazine and pick up copies, Boat Houses, Original School
 House, frozen yogurt/boba tea.
 5pm - Host families pick up at City Hall

Wednesday, August 2 -Train Ride to San Diego-

7:30am - host families drop off at City Hall
 7:56am - train to downtown San Diego
 10:00am - Sightseeing and shopping downtown San Diego
 11:30am - Arrive at Petco Park baseball stadium to have lunch
 12:40pm - San Diego Padres baseball game start
 4:55pm - train to Encinitas
 5:45pm- Host families take home

Thursday, August 3 -Surfing and Horses-

9am - host families drop off at City Hall
 9:45am - Little Oaks Equestrian Park horse ride
 12:00pm- Lunch at In-N-Burger Encinitas
 1:30pm- Surf lessons at Moonlight Beach (bathing suits)
 3:30-4:30pm - Coffee/tea at Pannikin Coffee
 (host families pick up from there)

7月31日 (月)

午前 7:00 公用車にて福岡空港へ出発
 午前 11:00 福岡空港到着
 午後 0:55 NH2144便にて成田国際空港へ出発
 午後 2:50 成田国際空港到着
 午後 5:05 成田空港よりNH006便にてロサンゼルス空港へ出発

~ 日付変更線 ~

午前 11:25 ロサンゼルス国際空港到着
 専用車にてエンシニタス市役所へ出発
 午後 4:00 市役所到着
 午後 4:00-4:30 歓迎レセプション
 ホストファミリーと対面、ホストファミリー宅へ

8月1日 (火)

午後 1:00-2:15 市役所訪問、市長面談
 午後 2:30-4:45 エンシニタスの街中を徒歩散策
 ・セルフ・リアリゼーション・ガーデンズ
 ・ハンセン・サーフ・ショップ
 ・エンシニタスマガジンの編集者と面談
 ・ボートハウス、オールドスクール
 ・Boba Tea (フローズンヨーグルト)
 午後 5:00 ホストファミリーが市役所に迎えにくる

8月2日 (水)

午前 7:30 ホストファミリーに市役所に送ってもらう
 午前 7:56 サンディエゴ市内へ列車で
 午前10:00 サンディエゴ市内で観光とショッピング
 午前11:30 ペトコパーク野球場へ到着 (昼食)
 午後 0:40 サンディエゴ・パドレス野球観戦
 午後 4:55 エンシニタスへ列車で
 午後 5:45 ホストファミリー宅へ

8月3日 (木)

午前 9:00 ホストファミリーに市役所に送ってもらう
 午前 9:45 乗馬公園で乗馬
 午後 0:00 ランチ (イン・アンド・アウト・バーガー)
 午後 1:30 サーフィン練習 (ムーンライトビーチ) (水着)
 午後 3:30-4:30 Pannikin Coffeeでコーヒー (ティー) タイム
 (ホストファミリーはそこに迎えに来る)

『 最高のエンシニタス！ 』

本渡中学校 2年 鎌田 ひかり

私は、この姉妹都市交流事業を通してたくさんのことを学んで来ました。

【1日目】

- 出発式(天草市役所)
- 公用車で福岡空港へ
- 福岡空港から成田空港へ
- 成田空港からロサンゼルス空港へ
- 専用車でエンシニタス市役所へ
- 歓迎レセプション
- ホストファミリー宅



☆初日の夜

初めて会うホストファミリーの方々は、私達を見て、にっこり笑顔で迎えてくださった。家に初めて入ったけど、とてもオシャレでリラックスできた。ホストファミリーの方々もエンシニタスの街中を案内してくださった。ビーチで食べたピザは普通に食べるよりも美味しく感じた。アメリカで初めてのアイスは絶品だった。その後、お土産を渡すと、大喜びしていた。なんだか私まで嬉しくなった。明日からの活動がすごく楽しみになっていた！

【2日目】

- 市役所訪問、市長面談
エンシニタスマガジン編集者との面談
- エンシニタスの街中散策
ガーデン、サーフショップ、ポートハウス、フローズンヨーグルト
- ホストファミリー宅

朝から習字を教えた。上手に書いていらしゃったので、驚いた。

それから、エンシニタス市役所を訪問した。市長さんは女の方だった。昼の街中は、日差しがとても強かった。

ガーデンでは鯉が飼ってあり、日本らしさを感じた。フローズンヨーグルトでは自分でソフトクリームを作った。みんなで食べたソフトクリームは、昨日と違う感じで美味しかった。

夕ご飯には、ハンバーガーを食べた。やはり、日本に比べるとアメリカのハンバーガーのサイズが大きかった。さらに、ジュースの大きさにも驚いた。近くにあるスーパーマーケットにも寄った。日本とは、商品の数から店の大きさまで違い、驚きの連

続だった。外に出てから見た夕方の空は綺麗で、感動した。

【3日目】

- 列車でサンディエゴ市内へ移動
- サンディエゴで観光とショッピング
- ペトコパーク野球場に到着
- サンディエゴパドレス野球観戦
- ホストファミリー宅



☆野球観戦楽しい！

アメリカの列車は、日本の列車と少し違い2階まであって、席は全席対面だった。サンディエゴは都会で、たくさん的高層ビルが立ち並んでいた。

野球場に着くと、そこにはたくさんの人がいた。そこで私達は普通なら入ることの出来ない球場の中へ入らせてもらった。ベンチにも座らせてもらい、特別な経験をさせていただいた。今回の試合で、ホームランが出て、とても嬉しかった。野球について何も知らない私でも楽しめた。

そこから、ホストファミリーの方々と近くの図書館へ行った。9階ぐらいある図書館の最上階は美術館のようになっていて、作品が展示してあった。日本の書物も置いてあり、親近感を感じた。見終わってから、新しく大きなショッピングモールへ行った。そこで夕食をすませたのだが、出てきたミートボールが大きくてお腹いっぱいになってしまった。その後、ショッピングをした。とても安くなっていて、思わず衝動買いしてしまった。

【4日目】

- 乗馬公園で乗馬体験
- ランチ(ハンバーガー)
- サーフィン体験
- カフェでティータイム
- ホストファミリー宅



☆エンシニタスの海最高！



☆乗馬体験

私にとって、二度目の乗馬体験となったが、最初は少し怖かった。でも、だんだん慣れてきた。「上手だね」と褒められるようにまでなった。それからハンバーガーを食べに行った。このお店はポテトがとても多くて食べることが出来なかった。次は、いよいよ待ちに待ったサーフィン！インストラクターの人に教えてもらいながら大分乗れるようになっていった。エンシニタスの波はとても高く何度も飲み込まれそうになった。けれど、とっても楽しかった！その後食べたケーキはとても甘かった。

それから、ホストファミリーの方々とフリーマーケットへ行った。そこで食べたタコス本格格的だった。帰りに見た夜の海もとても綺麗だった。

【5日目】

- ビーチバレー体験
- ランチ(ピザ)
- ダブルピークパークでハイキング
(サンディエゴの景色一望)
- ホストファミリー宅



☆ダブルピークパークの頂上



☆サーフィン像

ビーチバレーはとても本格的で、ネットが2メートル以上あった。なかなかネットをボールが越えなかったけどネットを越えた時の達成感を味わえた。その日はとても暑かったので、終わってから海に入った。やはり波が高くておぼれそうになってしまった。それでもエンシニタスのビーチは最高だった！ランチに食べたピザは、すごく大きくて驚いた。その後ダブルピークパークの頂上から見た景色は最高！サンディエゴを一望できた。

家に帰ると、ホストファザーのレコーディングスタジオを見せてくれた。本格的な機器が揃っていた。その後に行った音楽を聞きながらご飯を食べる所で、うどんを食べたが、日本のものとは随分違った。家に帰って、折り紙を教えた。二人とも楽しそうに折っていたから、私も嬉しかった。また、二人とも器用だった。

〈6日目〉

- ホストファミリーと過ごす
- ジャパニーズフェスティバル
- お別れ夕食会

今日は朝から外食をした。有名な店にも寄り、たくさん雑貨などを買った。



☆ジャパニーズフェスティバル

ジャパニーズフェスティバルでは思った以上にたくさんの方が見に来ていた。市長さんが私達の紹介をしてくださり、会場が大いに盛り上がった。その後、現地の方々が太鼓の演奏を披露された。それから私たちも日本の文化や天草の事などについて話した。私は天草の有名な場所についてスピーチした。順調にスピーチすることができて安心した。私達のスピーチが終わると、現地の日本語を学んでいる学生さん達に会った。その人たちは日本語がとても上手で、私達と日本語で会話してくださった。つつい話してしまい、時間が過ぎてしまった。

それからすぐに着替えてお別れパーティー！それぞれのホストファミリーの方々が

来られて、話したり遊んだりした。初めて会う方もたくさんいらっしまったが、笑顔で話しかけたり、一緒に遊んだりしてくださり、温かさを感じた。あっという間に時間は過ぎていき、すっかり辺りは暗くなっていた。

【7日目】

- 市役所でホストファミリーの方々との別れ
- 専用車でロサンゼルスへ移動
- リトル東京
- ユニバーサルスタジオハリウッド
- ホテル到着



☆帰りたくないよ～

いよいよホストファミリーの方々との別れがやってきた。今まで、短い間だったけど私達をいろいろな所へ連れて行ってくれたり、英語があまり話せない私にも優しく話しかけてくださったので、想いが溢れて涙となってしまった。そんな私を見て、ぎゅっと抱きしめてくださった。最後まで涙が止まらなかった私を笑顔で見送ってくださった。また、お世話になったエンシニタスともお別れをした。



☆寂しい別れ

寂しいという気持ちが強いなか、ロサンゼルスへ向かった。ロサンゼルスは今まで行った事の無いような都会だった。高層ビルが立ち並んでいて、少しサンディエゴと似ていたが、人の多さは比べものにならない程だった。街の中に、リトル東京という場所があり、名前の通り何だか東京に似ていた。国会議事堂に似せた建物もあり、東京っぽさを感じた。

それからハリウッドへ行き、テレビでよく見るHOLLYWOODのサインを生で見ることができて感動した。

そして、いよいよユニバーサルへ！本場のユニバーサルの乗り物に乗れる事に胸を膨らませた。いざ行ってみると、人が多く待ち時間が少し長かった。それでも乗り物の迫力がすごくて圧巻された。みんな楽しめたようでよかった。ホテルに着くと、みんなシャワーを浴びてから1つの部屋にみんなが集まった。そこで、トランプやUNOをして楽しく遊んだ。少し夜更かししてしまった。



☆ハリウッドスター気分

【8日目】

- 専用車でロサンゼルス空港へ
- ロサンゼルス空港から成田空港へ

アメリカ最後の日。

悔いがないくらいしっかり楽しめて最高の思い出が出来た！

【9日目】

- 成田空港到着
- 成田空港から福岡空港へ
- ジャンボタクシーで福岡市内のホテルへ

行きよりもフライトの時間が長かったが全然苦にならなかった。たくさん映画を見たりした。機内食も美味しかった。福岡市内のホテルでも、皆で楽しく過ごした。

【10日目】

- 公用車で天草市役所へ
- 解散式

皆で最後に過ごす日。

公用車の中でも、歌ったりして楽しんだ。普通なら長く感じる時間があっという間に感じた。とても楽しく終わられてよかった。私にとって、最高の思い出となった！

《感想》

私にとって、初の海外で、初体験ばかりだった。「Good morning！」から始まり、「Good night！」で終わる一日は新鮮だった。現地の方は、英語が話すことが出来なくても、優しく私たちを迎えてくださった。さらに、活動の時にも優しく受け入れてくださった。

皆が優しくて感動した。

さらに、エンシニタスの街にはゴミが全くなくて驚いた。また、様々な整備が整っていて、住みやすい街だった。

私が、一番学んだのは、「積極的な行動をすることの大切さ」だ。今まで英語を積極的に話そうとしなかった私も勇気を出して話してみると、皆聞いてくれて安心したし、英語を話すことへの不安がなくなった。

このような素晴らしい経験が出来たのは、家族や市役所の方々が支えてくださったからだと思う。だから、感謝の言葉を伝えたい。

『 エンシニタス 最高！！ 』

本渡東中学校 3年 金子 壮太

今回、天草市姉妹都市交流事業に参加できたことは、僕にとって、とても大きな出来事でした。たくさんの出会いがあり、たくさんの経験ができました。

【1日目】～7月31日～

出発式があった後、いよいよ送迎のバスに乗り込みました。まだ天草だったので、アメリカに行くという実感がわきませんでした。それよりもバスの中でみんなとうまく話せるかなという不安の方が大きかったです。でも、6人とはすぐ仲良くなりました。僕はこの6人とアメリカに行くのがとても楽しみになりました。

10時半ごろ福岡空港に着きました。初の飛行機でドキドキしながら乗り込みました。だんだんアメリカに行くという実感が大きくなり、僕は緊張していました。でも飛行機の中はとても快適でした。映画を見たり、テレビを見たりしました。

一日たったと思いきや、日付変更線を通っていたため、アメリカに着いたときは7月31日でした。とても不思議な感じでした。

アメリカの空港に着いて英語が耳に入ってきたとたん、思わずうわっという感じでした。ついに来たんだという実感とこれから大丈夫だろうかという不安が一気に込み上げてきました。

僕は車で移動し、エンシニタス市役所へ行きました。ホストファミリーを待っていると、最初に迎えが来たのが僕の家族でした。迎えに来てくれたのは、ホストマザーのCathyで、Cathyは僕をすぐにハグしてくれました。車の中ではCathyが先に話しかけてくれ、少しずつ不安が和らいでいきました。

家についてすぐお土産を渡しました。お土産には折り紙・おはじき・ふろしき・おもちゃの日本刀とかつらなどいろいろ持って行きました。全部とても喜んでくれ、僕もすごく嬉しかったです。中でも一番喜んでくれたのが、ホストファミリーの名前を漢字で書いた色紙でした。習字は苦手でお世辞にも上手な字ではなかったけど、「オー、ビューティフル」と言って、飾ってくれました。

その日の晩は、みんなでハンバーガーを作って食べました。そのハンバーガーがとてもおいしかったです。日本の僕の家では、夕ご飯に手作りハンバーガーは考えられないので、とても新鮮でした。その日は疲れていたのか、ベッドに入ったらすぐ眠ってしまいました。

こうして僕のアメリカの1日目は終わりましたが、僕なりに反省するところもたくさんあり、明日からはもっと自分から積極的に行動してい



☆ハンバーガーづくり

こうと思いました。

【2日目】～8月1日～

2日目は午前中 Dane とムーンサイトビーチの近くの川で釣りをしました。Dane は高校生でとてもカッコ良かったです。何も釣れませんでした、楽しい時間でした。

午後からは、市役所の中を案内してもらいました。市長さんにも会うことができました。

市長さんは女性の方で、立ち居振る舞いがきびきびしてとてもカッコ良かったです。その後、エンシニタスの町中を散策しました。エンシニタスの町は、町全体がパステルカラーで統一されているようで、明るい印象でした。町の人たちも誰もが陽気に感じました。

その日の全日程が終了し、家に戻りました。今日の夕食は、ステーキでした。そのボリュームにはびっくりでしたが、すごくおいしかったです。テレビで見るようなアメリカンステーキそのものでした。

その後、Dane の友達の Michey 達に会いに行きました。みんな友好的でとても元気な人達でした。一緒に写真をとったり、ダンスをしたりしました。初めての経験ばかりで、あっという間に時間が過ぎていきました。



☆Dane と一緒に釣り

【3日目】～8月2日～

この日は電車でサンディエゴに行きました。サンディエゴでの最初の買い物はジュースでした。ゆうきくんのホストファミリーの Ben にすすめられたものを買いました。独特な味で、日本では味わったことのないマンゴーと桃をミックスさせたようなものでした。

この日は、なんとメジャーリーグの試合を見に行きました。僕は野球部に所属していたので、野球の試合にとっても興奮しました。メジャーの選手はどんなプレーをするのか、心弾ませながら会場に向いました。

スタジアムはとてつもなく大きく圧倒されました。そして、さらにラッキーなことに試合前の球場にみんなで入ることができました。テレビでは味わうことができないグラウンドの雰囲気を感じることができ、僕の興奮は最高潮でした。グラウンドで記念撮影をしてもらいました。僕の一生の宝物です。

いよいよ試合が始まりました。僕にとっては、どのシーンも夢のような光景でした。スタジアムの中では、音楽が流れたり、声援が響いたり、とても賑やかでした。7回にはハーフタイムショーもありました。英語の教科書に載っていたことが目の



☆野球観戦（メジャー最高！！）

前で起こっていることにとっても感動しました。試合は盛り上がり、最後まで夢のような時間でした。

帰りの電車では試合の応援で疲れたのかみんな寝ていましたが、僕は全然眠たくなく、ガイドの Nick とずっとしゃべって帰りました、おもしろい話をたくさん聞くことができました。

その日の夕食は、チキンをナンのようなもので包んだものでした。これも初めて食べたもので、とてもおいしかったです。

夜はホストファーザーの Brad がチェスの仕方を教えてくれました。遊び方だけでなくその歴史についても話をしてくれ、ぼくは興味を持ちました。お土産に将棋のセットを持ってくればよかったと思いました。うまく説明する自信は全然ありませんが・・・。

【4日目】～8月3日～

今日は乗馬とサーフィンをする予定です。最初にみんなで乗馬に行きました。僕が乗った馬は黒っぽくて勇ましい感じの馬でした。馬は目の前で見ると、思っているより大きくちょっと驚きました。また他人が乗っているのを見ていると簡単そうに見えましたが、実際に乗ってみると意外に難しかったです。でも、乗っていると貴族になったような気分になりました。



☆初の乗馬体験
(意外と難しい!)

午後からは楽しみにしていたサーフィンです。天草にも海はたくさんありますが、僕はサーフィンの経験はありませんでした。ムーンライトビーチの波はとても高かったです。実際にやってみるとサーフボードの上に立つことがすごく難しかったです。何度か練習を重ねるうちに、立つことができるようになりました。もう少し練習して、上手に波に乗れるようになりたかったです。

その日の夜は Dane の友達とのパーティーと一緒に出かけました。Dane の友達の家は映画に出てくるような豪邸で、プールもついていました。僕はそこでいろいろな人と出会い、いろいろな会話を楽しみました。Dane の友達のおばあさんが日本人ということで、久しぶりにご飯をごちそうになりました。



☆Dane の友達とパーティー

【5日目】～8月4日～

この日はビーチバレーとハイキングをしました。ビーチの砂はとてもさらさらしていて、ボールを追いかけて飛び込んだときには、気持ちよかったです。ビーチバレーは、アメリカの中学生か高校生ぐらいの人としました。その人たちともバレーをしながら、すぐ仲良くなることができました。



☆ハイキング

(景色がとてもきれい！)

この日の夜は Dane と Dane の友達と一緒に海に行きました。ブギーボードというサーフィンよりも少し小さい板を使っての波乗りを経験しました。あまり上手に乗ることはできませんでしたが、とても楽しかったです。また、ビーチの夕焼けはとてもきれいでした。

その後、家で Dane とともにユーチューブを見たりして楽しみました。

日本と違い、アメリカの人達はどの人もすごくフレンドリーで、すぐ仲良くなる印象です。

【6日目】～8月5日～

午前中は Dane のサッカーの試合を見に行きました。とてもきれいなサッカーグラウンドでした。Dane は僕と1つしか変わらないのにすごく大人びて見えます。プレーもサッカー選手のようにかっこよかったです。

午後からはジャパニーズフェスティバルが市の図書館で予定されていました。ここではそれぞれスピーチをする場面があります。僕は日本の食べ物についてスピーチをしました。太平先生が持ってきて下さったこっぱ餅を配りました。アメリカでも、餅は” Mochi ” と言うことに驚きました。こっぱ餅はアメリカの人達にも人気で、みんな「おいしい、おいしい。」と言って食べてくれました。

この日の夕食は6人のホストファミリーが集まり、食事会を楽しみました。食事は各家庭から持ち寄りになっていたののでいろいろな食べ物があり、とても楽しい時間でした。

その晩、Dane と一緒に月を見に行きました。Dane のおすすめスポットに僕を連れて行ってくれました。そこは湖があり、「本物の月」と「湖の月」と一緒に見ることができるすごく幻想的な風景でした。でもこれが Dane と一緒に過ごす最後の夜という実感がこみ上げてきて、とても悲しくなりました。



☆ホストファミリーとのお別れ

【7日目】～8月6日～

いよいよ今日がホストファミリーとの最後の日となりました。朝からすごく悲しかったです。最

後に家の前で皆と一緒に記念写真を撮りました。その後、みんなに「ありがとう。」「また、必ず帰ってくるね。」と自分の気持ちを伝えました。僕はこの時もっと英語力をつけて、「必ずここに戻ってこよう。」と強く思いました。



☆エンシニタスの皆さんとのお別れ

僕は今回初めて海外に行くことができ、見るもの聞くこと全てが新鮮で、驚きの連続でした。日本に帰ってきて、あらためて自分にとって勉強になったと思うことが2つあります。

1つ目は日本と外国の文化の違いを直接感じる事ができたことです。ホストファミリーと過ごした時間が僕にたくさんのことを教えてくれました。

ホストファミリーと初めて会った時も、ホストマザーはとても嬉しそうにハグしてくれたり、Dane が僕にすごくたくさんのお話をしてくれたりしました。Dane の友人の家のパーティーに招待された時も、初めて会う人ばかりなのにみんなとても気さくで、前から友達のように接してくれるので、僕も安心していろいろな事を積極的に楽しむことができました。言葉や見た目の違いとかの壁がなく、すごく自然に接してくれることがすごいと感じました。

2つ目は英語の大切さです。僕はもともと英語が得意ではないので、身振りや紙に書いたりして積極的にコミュニケーションをとっていかようと思っていました。最初の日には緊張してうまく伝えられないこともあったけれど、時間が経つにつれてどんどん相手と話すのが楽しくなり、自分の伝えたいことはなんとなく自分なりに伝えられるようになっていきました。積極的に伝えようとする気持ちはすごく大事だと実感しました。

その反面、相手の言っていることがしっかりわからないことで、すごく悔しく思いました。相手の言うこともしっかりわかって、自分の気持ちも上手に伝えられたら、もっと楽しさが増していくと思います。それにお互いに、もっと相手のことをわかりあえるとも思いました。エンシニタスで出会ったもう一つの家族の良さや日本の良さ、天草の良さを伝えるためにも、もっともっと英語力を身に付け、もう一度いろいろ話したいと心から思いました。

今回、僕がこのような貴重な体験をすることが出来たのも、家族、先生、市役所の方々のおかげです。本当にありがとうございました。今回一緒にエンシニタスに行った友達とも、いろんなことを見たり体験したりすることができ、ほんとうにいい思い出ができました。この6人との友情もこれから大切にしていき、またいつかみんなでエンシニタスに行きたいと思っています。

あっという間の十日間でしたが、僕にとっては今までにない、最高の十日間となりました。この貴重な体験を大切に、今後の学校生活を充実させ、自分の進路の実現等、将来に向かって頑張っていきたいと思っています。

『 エンシニタス研修を終えて 』

稜南中学校 3年 浦崎 美咲

私は大人になったら、他国の文化を学びたい、触れたい、住んでみたいという思いが強くありました。今回、天草市姉妹都市教育事業の研修生として、アメリカのエンシニタス市に行けたことをとても嬉しく思います。この事業に参加して私が住んでいる天草は小さく、世界はこんなに広いのだと感じました。色々な人種や言語が溢れている世界を体験出来た事で、更に異国への思いは強くなりました。今回の研修では自ら行動する事の大切さや、完璧な英語ではなくても意思疎通が出来る事を学び、とても貴重な体験で楽しかったです。

【7月31日（1日目）】

出発当日は早朝にも関わらず、教育長さんや天草市の関係者の方々がお見送りをして下さい、改めて天草市の代表として行くことを感じ、気が引き締められました。天草出発後、福岡空港から成田空港へ向かい到着後、初の海外へ向けての出国審査となりました。出国審査では、手荷物を出しておらず、研修生6名全員が再検査となり、みんなで顔を見合わせて驚きました。無事出国審査を終え、緊張と笑いの中、ロサンゼルス行き飛行機に乗りました。10時間という長いフライトでしたが、映画鑑賞をしたり音楽を聴いたりして過ごしました。ロサンゼルス空港に着いてもアメリカに来たという実感は、湧きませんでした。空港の外に出てみると大きなビルが立ち並んでおり、やっとアメリカに来たのだと実感しました。エンシニタス市に着き、エンシニタス市の第一印象は「きれいな町だ。」ということでした。

エンシニタスの市役所に着くと、ホストマザーが花束を持って迎えに来てくれました。花束は緊張していた私を和らげてくれました。ホストマザーに英語であいさつをし、家に行きました。私のホストファミリーは、ホストマザーと子どもたち（Kaz, Alena, Marty）4人家族でしたが当日、子どもたちは、キャンプへ行っていていませんでした。私とホストマザーの2人で過ごすことになりました。ホストファミリーの家はとても広くて庭には大きなトランポリンがありました。小さな日本の家と比べただ驚くばかりでした。犬が2匹と亀が飼われていました。エンシニタス市は、90%以上の家が犬を飼われているそうです。それから、2匹の犬とホストマザーと私で散歩に行きました。エンシニタス市は坂が多かったです。でも、坂の上から見る景色はとてもきれいでした。散歩を終えてから、ピザ屋さんに行きましたが、ここでもアメリカのスケールの大きさを感じました。ピザは、1枚が日本の2倍ぐらいあり、飲み物も2倍以上でした。ピザを買ってムーンライトビーチへ行きました。ムーンライトビーチで、ピザを食べていると他のホストファミリーが来てみんなで夕食をとることになりました。同じ研修生に会ってほっとしました。そして、外で食べるピザはとても美味しかったです。家に帰り、アメリカの野球を見ました。

【8月2日(2日目)】

2日目も、朝から散歩へ行きました。散歩をしていると、ひろこさんという日本人の方に会いました。ひろこさんは私が日本人と分かり、声をかけて下さいました。ホストマザーとひろこさんは、意気投合して連絡先を交換されていました。ひろこさんがホストマザーと英語で楽しく話しておられる姿を見て「カッコイイな。私もあんな風に話せるようになりたい。」と思いました。

散歩から帰るとホストマザーが、「あなたに会いたいという人がいるから。」と Eric と Dylan という男の子たちを連れてひろこさんが来てくれました。Eric と Dylan は、高校生でした。日本語が上手で日本語で色々な話しをしました。とても楽しい朝食になりました。

その後ショッピングに行きました。午後は市役所訪問やエンシニタス市の街中を散策しました。エンシニタスは日本の様に湿気がなく、清々しい空気流れていて今まで体験したことのない心地よい気候で過ごしやすいです。また、自転車専用の道路があり、歩道には等間隔にゴミ箱が置いてありました。エンシニタスがエコのためにしている1つの工夫だと思いました。お店に数軒寄りアイスクリームを食べました。その後、ひかりさんや穂香さんたちと一緒にハンバーガーを食べに行きました。アメリカのハンバーガーは、味はおいしかったですがポテトは想像以上に多く食べきれませんでした。



☆エンシニタス市長は女性！！

【8月2日(3日目)】

早朝からみんなで電車に乗りサンディエゴへ行きました。サンディエゴはエンシニタス市とは違った街並みでビルが高く、日本の東京のようでした。そこで、ペトコパーク野球場でメジャーリーグを観戦しました。私たちは特別にグラウンドに入ることができました。グラウンドから見る景色は、スタンドで見るよりも明るく熱気が凄かったです。私たちは、サンディエゴのチームを応援しましたが負けてしまいました。しかし、ホームランを見ることができとても興奮しました。



☆野球スタジアムにて
有名な芸能人と記念撮影

夕食は、タコスを食べました。魚とお肉のタ

コスホをホストマザーとシェアして食べました。ホストマザーも私も魚のタコスがおいしいと感じて好みが同じでした。エンシニタスでも、魚のタコスのほうが人気だそうです。それからショッピングモールで買い物をして、その帰りにホストマザーが「夕日がきれいだから見て帰ろう。」と言ったので、2人でソラナビーチへ行きました。ソラナビーチへ行くと、夕方にもかかわらず、泳いでいる人たちがいました。そこから見る夕日は、沈んでいく太陽が明るくて大きく今までに見たことのない美しさでとても感動しました。夕日でこんなにも感動できるのかと思い、天草でも夕日を見に行こうと思いました。



☆ハンモック女子

【8月3日(4日目)】

この日は朝から乗馬体験をしました。私は動物が苦手ですが、馬に乗る前に、餌をあげ、ブラッシングをして初の乗馬体験は成功しました。馬が触れるようになりました。



☆ムーンライトビーチからの夕焼けに感動！！

午後からは、私がこの研修の中で一番楽しみにしていたサーフィンでした。インストラクターの方にレクチャーを受け、始めはうまくいきませんでした。何十回もするうちに少しずつ波に乗れるようになりました。波に乗れると、インストラクターの方が「perfect」や「good」など声をかけて下さり、ハイタッチで喜んでもらえました。時間ぎりぎりまでサーフィンを楽しみました。

サーフィンの後は、カフェに行き、チョコパイを食べました。それからホストマザーとひろこさんと3人でショッピングに行きました。ひろこさんが日本語でお店について色々教えて下さいました。

家に帰ると、子供たちがキャンプから帰ってきました。姉と弟がトランポリンのゲームを教えてくださいました。それから、天草や、自分の家族のことなどを、単語をつなぎ合わせ話しながら夕食を食べました。上手ではない英語でしたが、ホストファミリーは笑って聞いてくれほっとしました。夕食を食べた後は、紙風船や竹とんぼで遊び、家の中で鬼ごっこもしました。



☆ホストファミリーと夕食

【8月4日(5日目)】

研修生が合流し5日目の日程が始まりました。ソラナビーチへ行く前にドーナツ屋に寄り、ソラナビーチでエンシニタスの中学生やホストファミリーとビーチバレーをしました。アタックの練習やゲームをして汗を流しました。ビーチバレーが終わると汗を流すため、海で泳ぎました。波が高く何度も波にのみこまれそうになりましたが、楽しかったです。

昼食は、研修生6人と先生、現地の方2人で大きなピザを4枚、頑張ってお食べました。昼食後は、ハイキングでした。日本ではハイキングは歩くことだと思っていましたが、ハイキングほとんど歩かず、ニックが「疲れた表情を出して写真を撮ろう。」と言ったのでみんなで記念撮影をしました。山の頂上からの景色は壮大でした。ここでの写真が一番のお気に入りです

この日は夕方、ホストファミリーみんなでボウリングへ行きました。1ゲーム目は、ストライクやスペアがでて1位でしたが、2ゲーム目はホストマザーと兄がとても上手で負けてしまいました。このころはホストファミリーと上手く英語で会話できるようになり、自分の思いも伝えることができるようになっていました。

【8月5日(6日目)】

6日目、Alenaが6日間の海洋キャンプへ行くため朝から、Alenaをキャンプ場に送って行きました。アメリカの方はキャンプや海水浴、サーフィンなどアウトドアを楽しむ人が多いと感じました。帰りにドライブをして帰りました。帰りの車の中から、改めて外を眺めると、ザ・アメリカというようなイメージにピッタリの背の高い木や柵で覆ってある家がたくさんあり、アメリカにいるのだと再度実感しました。

午後からは、図書館であるジャパニーズフェスティバルに行きました。私は日本で事前



☆ビーチバレーの後の楽しみ



☆一番のお気に入り



☆今もメル友

に母と浴衣の着付けを練習していき、浴衣をきました。ホストマザーが「beautiful!!」と褒めてくれ少し恥ずかしかったです。図書館では日本語を話している人が多く、エンシニタスの学生や先生にアメリカの制度、学校などについて教えてもらいました。

最後に、それぞれのホストファミリーが集まりお別れパーティーをしました。みんなでゲームやシャボン玉をして盛り上がりました。印象に残る1日でした。

【8月6日（最終日）】

いよいよ最終日です。ホストマザーはハグをして別れを惜しんでくれました。「come again」と何度も言ってくれ最後まで手をふってくれました。私も「ぜったいまた会いに行きたい。」と強く思いました。



☆ホストマザーと

今回の6日間の交流事業を通して、私が一番学んだことは「完璧な英語が話せなくても、コミュニケーションがとれる。」ということです。人は言語で伝えるだけではなく、表情やジェスチャーで思いを伝えることで相手は聞き入れてくれるのです。コミュニケーションができると自分の知らなかった世界を知り、色々な情報を知ることができます。アメリカ人の大きく広い心、色々な遊び、観光名所、スポーツ観戦を実際に体験することで私の視野は確実に広がったと思います。

交流事業に参加したことで6名の友人や先生に出会い、素晴らしい仲間となりました。そして大切なアメリカ人の友人ができました。帰国後も友人やホストファミリーとメール交換をするため、翻訳アプリを使いながら日々英語を勉強しています。この経験と出会いをもとに成長していきたいです。そしてまたいつか、エンシニタスに行きたいです。

最後に、このような機会をいただいた天草市に感謝します。天草の中学生としてできることを身近なところから取り組んでいきます。本当にありがとうございました。

『 姉妹都市交流事業を通して 』

牛深中学校 3年 如田 穂香

私は、天草市姉妹都市交流事業の研修生としてエンシニタス市に行ってきました。面接試験の合格を聞いた日から、とても楽しみにしていました。実際に行ってみると、私の想像していたアメリカとは違うところがたくさんあり、毎日がとても充実していました。

【1日目】

午前7時に集合した時は、全く「アメリカに行く」という実感がわきませんでした。バスの中ではお互いの学校や部活の話をして、自然に仲良くなっていきました。成田国際空港では、出国審査がありました。厳格な雰囲気でもとても緊張しましたが、無事通過できてほっとしました。12時55分ロサンゼルス空港行きの飛行機に乗り、初めて日本を離れました。およそ11時間の空の旅はとてもきつかったけど、興奮であまり眠れませんでした。ロサンゼルス空港は色々な国の人が出て、一気に日本語が聞こえなくなったので少し不安になりました。しかし、入国審査はALTの先生に教えてもらっていた事よりも優しくだったので良かったです。空港から出ると、日本とは全く違って日差しが強く、肌寒かったです。

エンシニタス市役所に着くと、市役所職員のニックさんが外で待っていてくださいました。ニックさんとは去年の牛深中学校での交流で一度会ったことがあったので、その時のことを少し会話することができてうれしかったです。そのうちすぐに私のホストファミリーのフリーさんという方がいらっしゃいました。老夫婦の方方で、とてもこやかに迎えてくださったので安心しました。最初にアメリカで食べたものは、ピザでした。とてもおいしかったけど、想像通り大きくて一切れ食べるのが精一杯でした。

夜は、日本から持ってきたお土産を渡しました。一番気に入って下さったのは、筆ペンと千代紙でした。あまり太いペンは使わないらしく、珍しいそうです。喜んでもらえて嬉しかったです。



☆マイホストファミリー！

【2日目】

ホストファミリーの家で初めて朝食をとりました。ベーグルにクリームチーズを塗って食べるように勧められ、食べてみるととてもおいしかったです。マンゴーやレッドオレンジ、ブラックベリーなど、初めて見る果物もたくさんあり驚きました。この季節は日照時間がとても長く、いろいろな種類の果物がとれるそうです。果物はどれも甘くて美味しかったです。

朝食後は習字をしました。漢字やひらがなを書いてみせるととても喜ばれ、「Teach more!」と言って下さり、ホストファミリーも習字にチャレンジされました。日本の事に興味を持ってもらえて嬉しかったです

午後からはみんなと一緒に市役所やその周辺を散策しました。一番驚いたことは、どれだけ歩いて、ごみが一つも落ちていなかったことです。あちこちにごみ箱があって、みんなそこに捨てていました。天草もゴミが一つもない街になればいいなと思いました。

【3日目】

列車に乗り、サンディエゴに野球観戦に行きました。サンディエゴ市内は大都会でした。建設中の建物がたくさんありました。私自身、野球観戦するのは初めてだったけど、応援も熱く、球場全体がとても盛り上がっていたので楽しかったです。グラウンドにも入ることができ、貴重な体験でした。

その後はホストファミリーと一緒に、サンディエゴにある美術館や図書館、アウトレットに行きました。図書館には日本の「東海道五十三次」のコピーがあり、ホストファザーはとても興味を持たれていました。一枚一枚ひかりちゃんと一緒に説明しました。私たちの知らないこともたくさん尋ねられ、戸惑いました。私も、もっと日本の事を勉強しなければと思いました。アウトレットにはたくさんの店が並んでいました。洋服のお店では、サイズが私にはSでも大きかったり、XXXLがあったりしておもしろかったです。本屋にも行きました。私のホストマザーは司書をしていたそうで、いろんな本を知ってました。おすすめを聞くと「ハウルの動く城」を勧められました。日本の作品がアメリカでも読まれていることを知り、嬉しくなりました。



☆エンシニタス市長 美人♡



☆議会席にも座りました！！



☆とてもかわいい
オールドスクール♪



☆ペトコパークにて。なかなか入れないグラウンドにも入りました！！

【4日目】

乗馬とサーフィンをしました。乗馬は、馬の手入れからしました。たてがみをブラシでといたり、ひづめの裏の土をとったりしました。日本でも乗馬をしたことはあったけど、手綱を自分で引いて方向を変えるのは初めてでした。馬の体に絵をかいたりもして、楽しかったです。

サーフィンが一番楽しみにしていました。サーフボードは私の身長よりも大きく、波も高かったのでわくわくしました。実際にやってみると、立つのはとても難しかったです。しかし、最後には長く波に乗れるようになり、楽しかったです。



☆エンシニタスの海サイコー！！

夜は、オーシャンサイドという街の市場に行きました。色々な国のお店があり、とてもにぎわっていました。その市場の一角にあった「カリフォルニアサーフィンミュージアム」というところに行きました。サーフィンがもととなった映画についてや、サーフィンの歴史についてのパネルがたくさんありました。とても興味があったけど、すべて英語で書かれていて（もちろんだけど・・・）内容があまりわからず、自分の英語力のなさを思い知らされました。もっと英語を勉強して、分かるようになりたいと思いました。

【5日目】

午前9時に市役所に集合するなりすぐにドーナツ屋さんに行きました。毎日こってりしたものが多かったので、甘すぎてきつかったです。それでも勇気くんのホストシスターのクレラは「Good！！」とたいらげていたのでびっくりしました。

ビーチバレー講習会では、基礎からしっかり教えてもらいました。以前少しバレーはしたことがあったけど、砂浜の上でするのは難しかったです。現地の同年代の人たちと一緒にして、少し仲良くなれたので良かったです。

午後はダブルピークパークに行って、サンディエゴの景色を一望しました。行きの車の中では国歌を歌いました。各学校の校歌も歌いました。ニックがそれを聴いて「Amazing！！」と言いました。私もいろんな学校の校歌を聴いておもしろいなと思いました。山頂についてサンディエゴの景色を一望し、ずっと先の地平線を見て、アメリカの壮大さを感じました。

夕食は私が吹奏楽でサクスを吹いているという事を知り、ホストファザーがジャズレスト



☆エンシニタスサンディエゴ一望
アメリカだ！

ランに連れて行ってくださいました。生の演奏はカッコ良かったです。ちなみにここで食べたカレーは日本のカレーと色も違い、味は・・・でした。

夜は4人で折り紙をしました。鶴や手裏剣、兜、などを教えました。大きい兜やとても小さい鶴を作ってプレゼントすると、ホストマザーはとてもびっくりされ、ずっと不思議そうにながめていました。また、ホストマザーは日本に関する本（漢字や観光地など）をたくさん持っていました。ホストファミリーは日本にとっても興味があり、日本についていろいろな話をしました。

【6日目】

前の日の夜、折り紙に夢中で寝るのが遅くなり、この日は遅めの起床で、朝食・昼食兼用の《ランチ》を食べに行きました。そこで、きれいなピンク色のハイビスカスティーを飲みました。とてもオシャレでおいしかったです。

午後はジャパニーズフェスティバルへ行きました。現地の人々が和太鼓を叩いたり、横笛を吹いたりしていてびっくりしました。私も浴衣を着て牛深ハイヤ節を歌ってきました。「Your song is very nice!」と気に入ってもらい嬉しかったです。

この日の夜は、みんなでお別れパーティでした。ごちそうはたくさんあったけど、食べる事よりみんなでバレーやサッカー、フリスビーをして遊んだことが楽しかったです。とても楽しくて、最後の夜だと思うとさみしくなりました。



☆ジャパニーズフェスティバルにて

【7日目】

お別れの朝、ホストファミリーにとっても良くしてもらったので、別れるのが寂しくて、悲しくて泣いてしまいました。ホストファミリーの優しさに触れ、たくさんの思い出ができ、充実した1週間でした。

ホストファミリーとお別れし、エンシニタスを後にして、ロサンゼルスハリウッドに行きました。エンシニタスは人は多かったけど、穏やかな雰囲気でお優しい街でしたが、ハリウッドは人が多すぎていろんな人が近づいてきて、とても怖かったです。



☆お別れの朝

まだ帰りたくな～い・・・

私はこの研修を通して、誰に対しても積極的に接することの大切さを改めて感じました。エンシニタスの方々はみんな私の下手な英語にも真剣に耳を傾けて、一生懸命に理解しようとして下さいました。「伝わらなかったらどうしよう」と考えるのではなく、「何と少しでも伝えよう！」という気持ちが重要だとわかりました。言語の違いという壁はとても厚いものだと思っていましたが、全然そうではなく、気持ち次第でわかり合えると学びました。



☆ニック。1週間お世話になりました。

また、エンシニタス市はとても環境に優しい街でした。ビーチも、多くの店が立ち並び大通りもたくさんの人で溢れているのに、ごみは一つも見当たりませんでした。同じ海と共に生活する街として、天草も見習うところがあるのではないかと感じました。

この研修を通して人との出会いがたくさんありました。これで終わりにするのではなく、国境を越えてでも手紙などでさらに交流を深めていけたらと思います。そして、この研修がこんなにも充実し、楽しいものになったのは、6人の派遣生と仲良くなれたからだと思います。笑顔の絶えない研修となりました。これからこのつながりを大切にしていきたいと思います。

最後にこのような素晴らしい機会を与えて下さった天草市・エンシニタス市職員の方々、引率して下さいました大平先生、中学校の先生方、そして保護者の方々、本当にありがとうございました。

この貴重な経験をたくさんの人に伝えていきます。そしてこれからももっともっと英語力をつけて、またエンシニタスを訪れたいです。

最高の10日間を本当にありがとうございました。

『 Encinitas 』

倉岳中学校 3年 小林 紗也

私は「自分の英語力がどれくらいなのか試したい。アメリカ人の人々とコミュニケーションを取り、沢山はなしをして相手の言っていることが理解できるかチャレンジしたい。普段のアメリカ人の生活や文化を感じ体験したい」と思いこの姉妹都市交流事業に参加しようと思いました。

【7月31日（1日目）】

ついに出発の日がやってきました。朝早くから家族に見送られ、天草市役所を出発しました。最初は、今から小学校低学年の頃からテレビで見ている憧れのアメリカに行くという実感が、なかなか沸きませんでした。福岡空港から成田空港へ行き、出国審査をしました。ときどきしたけど、なんにもなくて良かったと思っているとアナウンスで私の名前が呼ばれました。なんだろうと思い指定された場所に行くと、手荷物検査を受けました。出国者をランダムに選んで、行っているそうです。それを聞いてほっとして皆のところへ戻りました。いよいよ飛行機に乗りこみ約1 1時間のフライトが始まりました。飛行機の中は少し寒かったけど皆と話をしたり映画を見たりして楽しく過ごしました。時差ボケは大丈夫でした。

アメリカにつき、入国審査を終え外に出ると標識などすべてが英語だったのでその時「ここはアメリカだ！」と実感しずっと憧れだったので感動したりわくわくしたりで、胸がいっぱいでした。空港から車で1時間くらいでエンシニタスの市役所につき、これから5日間様々な所を案内して下さる、市役所職員のニックに挨拶をしました。すると皆に日焼け止めやバスタオルなど、エンシニタスグッズの入ったリュックをくださいました。どれもすごくいいものばかりでした。



その後少し待っていると “Welcome Say a” と書かれた紙をもった私のホストファミリーが迎えにきてくれました。自己紹介を終え家に向かいました。車の中でホストシスターのPhobe（フィービー）と写真を撮っているとホストマザーのJoann（ジョアン）が「海見ていく？」と誘ってくれました。もちろ

☆ホストファミリー ン「はい！」と答え、とっても大きい美しいムーンライトビーチに行きました。夕方だったけどたくさんの方がいました。私達は一緒に写真を撮ったりして家に帰りました。家には、2匹の犬Suki（スーキー）Tug（タグ）がお出迎えしてくれました。その他にも猫や亀もいました。エンシニタスの住民は約70%の人が犬を飼っているそうです。夕方に時間があったのでもう一人のホストシスターのリリーとフィービーの3人で散歩に行きました。近くにある小学

校まで行くと、野生のうさぎがたくさんいました。ほとんどのうさぎが黒っぽい色をしていてかわいかったです。

アメリカでの最初の食事はジョアンが夕食につくってくださったミートボールスパゲッティでした。ミートボールが日本の3倍くらい大きかったけど、とてもおいしかったです。夜はテレビゲームをしたりして遊びました。あまりテレビは見ずビデオをホストファミリーは見ていました。

【8月1日(2日目)】

朝、外から聞こえてくる“ふくろう”の「ホーホー」という鳴き声で目覚めました。この日はジョアンの誕生日だったので朝食は、パンケーキ屋さんに行きました。甘くておいしかったけど量が多くて食べることができませんでした。

そして、午後は市役所に送ってもらい、ニックに説明してもらいながら市役所の中を見て回りました。職員の方々は、一人一人しきりや部屋などで分かれていて個人の空間で仕事をされていました。廊下の壁には今の市役所があるところが昔スーパーマーケットだった頃の写真が飾られていたりしました。エンシニタスの市長さんにもお会いし、お菓子を頂いたりお話を聞いたりしました。また、会議室の椅子にも座らせてもらいました。



☆エンシニタスの街

その後エンシニタス街中を徒歩散歩しました。その途中で可愛いボートハウスがありました。人が住んでいましたが、特別に中を見せてもらいました。中は普通の家と同じくらい生活しやすそうな内装だし、犬もいました。また、ベランダから見える景色はとてもきれいでした。

その後は、サーフショップに行ったりしました。ホストファミリーとの待ち合わせ場所のお店でフロズンヨーグルトを食べているとリリーとフィービーが迎えに来てくれました。アメリカは、16歳から免許がとれるそうなのでびっくりしました。

夕食は、ジョアンの誕生日会の続きでピザを食べに行きました。とても大きくおいしかったです。残りは持ち帰りました。家に帰ると、仕事でサンフランシスコにいるホストファザーのJoe l (ジョエル)からバースデイフラワーが送られていました。とても仲がいいんだなと思いました。

【8月2日(3日目)】

朝食は、シリアルを食べました。日本の牛乳より色が薄かったです。

この日は電車に乗ってダウントウンサンディエゴに行きました。世界大戦の像などが沢山あるところに行きました。そこにはいくつかのお店もあってキーホルダーなど可愛かったです。そこから歩いて次は“petoco park”に野球観戦をしに行きました。私達はあまり選手以外が入ることのできないグラウンドに入らせてもらいました。そ

ここにいた俳優の方や海兵隊らしき人達と写真を撮ったりしました。そして、観戦しているときにニックが赤く長いグミをくれました。とても不思議な味でした。また、ホームランボールは取れなかったけど、何人かのスタッフの人が客席に投げられた柔らかいボールをキャッチできてうれしかったです。

帰りは、ホストファミリーと一緒にでした。この日はジョアンがお友達の誕生日パーティーに行ったので、ホストシスターと3人でタコスを食べに歩いて行きました。その途中で犬の糞をとるための袋がついている柱がありました。きれいな街を維持するための工夫がされていてすごいなと思いました。タコスにはチップスとそれにつける煮豆がセットでついてきました。3人でそれぞれの料理をシェアして食べたり話したりして、とても楽しかったです。

【8月3日(4日目)】

朝からゴミ収集車がきて昨日玄関の前に出しておいたゴミ箱を持ち上げてゴミだけを持っていきました。人が車から出ないで作業が出来るので時間の短縮になるし、すごい機能だなと思いました。日本でもこのような機械を使う取り組みをすれば不法投棄がなくなるのではないかなと思いました。

この日はエンシニタスから少し離れたところに行って乗馬体験をしました。そこには大きい馬と小さい馬が2頭ずついました。私は、茶色の21歳の大きい馬に乗りました。以前乗馬体験はしたことがあったのですが馬が歩くと体がゆれて少し怖かったです。その後乗った馬に黄色や緑色、水色、ピンクなどの色でペインティングをしました。帰るときに自家製のレモネードをもらいました。酸っぱくて甘く美味しかったです。昼食はエンシニタスで有名なハンバーガーショップに行きました。大きさもあまり日本と変わらずおいしかったです。でもフライドポテトがとても多かったです。

次はムーンライトビーチにサーフィンをしに行きました。ニックは仕事があるのに「車の中ですから大丈夫だよ。」と言ってついてきてくれました。このビーチは高い波がしきりにくるので怖かったし、サーフィンは初めてだったので最初はなかなかバランスが取れず苦戦していました。でも、トレーナーの方がコツを何度も繰り返し教えて下さったりサポートして下さったのでみんな立てるようになりました。出来るようになったら何回もして足をくじいたりもしたけど、とっても楽しかったです。

家に帰ると、今日はジョエルがサンフランシスコから帰ってくる日だったので夕食のバーベキューの準備の手伝いをしました。外で焼いて中で食べました。ジョエルが帰ってきて来てなぜ長袖なのか尋ねると「サンフランシスコはまだ寒かったからだよ。」と教えてくれました。エンシニタスも日本よりは寒かったので、湿気がないからかなと思いました。その後みんな写真を取り話をして4日目が終わりました。

【8月4日(5日目)】

今日も同じビーチに行ってビーチバレーをしに行きました。その途中でドーナツの

お店に行き、ドーナツを食べました。ビーチに着き早速ビーチバレーの準備をしました。私はバレー部だったのでバレーを何度もしたことがありましたが、砂の上は足を取られて思うように体が動かさず難しかったです。とてもきついし、暑かったけどチームのみんなと声を掛けあいながら試合をするのは楽しかったです。その後に海に入り泳ぎました。沢山動いた後だったので気持ち良かったです。最後にはイチゴジュースとお菓子をもらいました。

昼食はピザを食べに行きました。大きいピザが4枚くらいあったけどみんなで完食してしまいました。お店から出る時にフォーチュンクッキーをもらい初めて食べました。占いの紙がなかに入っていて面白かったです。

家に帰るとリリーとフィービーが習い事の水球に行く準備をしていました。私は夕食を食べた後ジョアンとジョエルとスーパーに行った後水球の様子を見学に連れて行ってもらいました。水球のプールは足がつかないくらい深いので浮いておくためにコーチの話を聞く時もずっと足を動かしてきつそうだなと思いました。でも試合をする姿はとても真剣でカッコ良かったです。

【8月5日（6日目）】

朝からホストファミリーとビーチに行きました。3日連続で海に行きましたが毎回楽しくて全然あきませんでした。この日も泳いだりボディーボードを使ったりして、遊びました。ムーンライトビーチは波が高いので海の中の砂も波打っていて奥に行くところと浅いところと交互になっていました。



お昼からはジャパニーズフェスティバルに行きました。太鼓の演奏があったり日本のお菓子が配られていました。私たち研修生はいくつかの出し物をしました。私は日本舞踊を習っているので“花”という曲を踊りました。とても緊張しましたが、最後まで踊りきれたので良かったです。色んな人から「すごかったよ」と言ってもらえたので良かったです。日本の美しい伝統のひとつを知ってもらえたのではないかなと思います。一旦家に帰ってからリリーとフィービーでスーパーにショッピングに行きました。おススメのものを聞いたりして楽しく買い物しました。5時頃にお別れパーティーに行きました。それぞれのホストファミリーが持ち合わせたたくさんのおいしい料理を食べました。その後公園でバレーをしたりサッカーをしたりシャボン玉をしたりみんなで写真を撮ったりしました。夕焼けがとってもきれいでした。

パーティーが終わって帰る時にリリーが「さやと過すのは今日で最後だからアイスクリーム食べにいこう！」と言ってくれました。私達の行ったお店は少し行列ができていました。やっと店内に入り注文するとクッキーがもらえました。それぞれ違うフレ

イバーにしたのでシェアしながら食べました。どれも日本では食べたことがない味だったけどどれもおいしかったです。

家で私がシャワーを浴びてもどつてくると私と私の家族にプレゼントをくれました。どれもおしゃれなものばかりでした。ずっと大切にします。

【8月6日（7日目）】

市役所への集合時間まで時間があつたので色々見てまわったりコーヒーを飲んだりしました。家に帰って片付けをしてジョエルとスーキーとタグに感謝の気持ちを伝え、お別れをして市役所に向け出発しました。車の中でもうお別れするのが嫌で泣きそうでした。

市役所に着き最後に全員で写真を撮りました。ついにその時がきて私はホストファミリーみんなが揃うまでずっと抱き合っていました。私のホストファミリーはいつも迎えに早くきてくれるし、家ではリビングやベランダで本当の家族のように落ち着くまったりした時間を過ごせました。エンシニタスで出会った人はみんなやさしくて明るくて良い人ばかりでした。また、自然も多く緑豊かできれいな海もあるので、どこか天草にいている気がして安心感のある街でした。エンシニタスは第2の私のふるさとなりました。



ホストファミリーとお別れをして次は、ハリウッドに行きました。山にある“HOLLYWOOD”の文字を見たり、有名なハリウッドスターの手形、足形を見ました。人がとても多いし、写真を撮るとお金を取られるコスプレをしている人もいたりして少し怖かったです。そのあとはユニバーサルスタジオに行きました。ジェットコースターに乗ったり、お土産を買ったり、バタービールやチュロスを食べたりしました。

2番目に乗ったジェットコースターでびしょびしょに濡れましたが帰るときには乾いていました。たくさん時間があつたので、十分に楽しみました。

夕食はスーパーで買いました。ホテルは2人部屋でしたが、とても広かったです。夜はみんなで一部屋に集まり買っていた夕食を食べ、トランプをしたりしました。

【8月7日（帰国日）】

ホテルで朝食を済ませた後、スーパーに行き空港に向かいました。また、長い飛行機の旅を終え帰国しました。充実した長いようで短いアメリカの生活が終わりました。

私はこのホームステイで前からアメリカに憧れはありましたがアメリカがもっと好きになり、目標、夢をかなえる場所になりました。今は相手の言っている事はなんとなく分かるけど、すぐに応えるのが出来なかったり、単語だけになってしまったりしたので、これから目標に向かってもっと勉強を頑張りたいと思います。そして将来英語が上手に話せるようになったらホストファミリーと再会して今回のホームステイの思い出話やその後の日本での話などを沢山したいです。貴重な体験をありがとうございました。

I l o v e E n c i n i t a s !

『 天草市姉妹都市交流を終えて 』

五和中学校 3年 長濱 勇気

私は今回、天草市とエンシニタス市との姉妹都市交流で、天草市の代表の一人としてアメリカに行かせていただきました。アメリカでは、沢山の人とコミュニケーションをとり関わりを持つこと、異国の食文化や生活様式の日本との違いを発見、体験すること、そして日本の文化を伝えることを目標として今回の事業に臨みました。旅は全部で十日間の日程でした。

【1日目】

出発当日、市役所での出発式の後、家族や市の職員の方々に見送られながらバスで一路福岡へ。福岡空港から成田を経由し、国際線のロビーから出国手続きへ。手続きは日本の方でしたがそれでも緊張しました。旅への期待と不安を抱えながら出発しました。ロサンゼルス空港まではテレビを見たり睡眠をとったり、長時間のフライトでしたが、あっという間に到着しました。飛行機から降りた時の最初の一步はとても嬉しかったです。入国手続き所は沢山の人がいっぱいでした。指紋や目の検査の他に検査官から質問され、とても緊張しましたが何とか入国完了。心の底からほっとしたのと同時に、改めてアメリカに来たのだと実感しました。

エンシニタス市役所へ着くと、ガイドのニックさんと、ホストファミリーが待っていました。英語での自己紹介は緊張しましたが何とか無事終了。その後エンシニタス市からのお土産を頂き、各々のホストファミリー宅へ連れて行ってもらいました。今回私がお世話になったのはポールさんでした。ポールさん宅までの移動のなか日本人は自分一人、想像以上に緊張し何か話さなければと思っていたけど固まってしまいました。そんな時、ホストマザーが分かりやすい英語で質問をしてくれました。そこから少しずつホストファミリーと打ち解けることができました。ただ、会話の半分は理解できず、もちろん質問にも答えることができず、少し悔しい思いをしました。

ホストファミリー宅に着いて驚いたことがいくつかありました。まずトイレとシャワールームが二つあったこと。そしてガレージの中にサーフボードや卓球台、テレビにドラムセットまでありました。庭には何とジャグジーまで。その日はホストファミリーと一緒に、夕日を眺めながらジャグジーに入りました。初めてのことが多く不安や緊張もありましたが、ホストファミリーの皆さんがとても優しくしてくれて、楽しい一日になりました。



☆とても素敵なホストファミリー

【2日目】

朝からプールに行きました。プールはビッグで私の身長のご二倍程の深さがあり驚きました。ここでは「マルコ・ポーロ」といった、鬼ごっこのようなゲームをやりましたが、楽しくてずっと続けていました。

午後からは市役所訪問や現地の小学校を訪れ、引率の大平先生の特別授業もあり楽しく過ごせました。また、現地で有名なサーフ・ショップへ行き、人生初のドルで買い物をしました。ドキドキしながら紙幣を出し何とか購入することができ、一つ大人になりました。最後にフローズンヨーグルトの店に行きました。ここは自分で機械のレバーを引いてヨーグルトを取り、好んでトッピングを追加する方式で、私はパッションフルーツをベースに、イチゴにラズベリー、それにマンゴーを多めにトッピングした盛りだくさんのヨーグルトを注文しました。酸味と甘みの絶妙なハーモニーで思いのほかさっぱりしており美味しかったです。ただ、ラズベリーはとても野性味あふれる味でした。

ホストファミリー宅へ帰ると、夕食までの間、ファミリーのベンとクレラとバスケットボールをして過ごしました。お楽しみの夕食はフィッシュタコス。南カルフォルニアは柔らかいトルティーヤ（トウモロコシ生地）が定番だそうで、この生地にアボカド、トマト、キャベツ、マヒマヒ（シイラ）のフライ、サルサソースをのせて口いっぱい頬張ると何ともいえない美味しさで、私の大好物になりました。

夕食後、日本から持ってきたお土産をホストファミリーに渡しました。扇子やけん玉、中でも竹とんぼに興味を持ってくれました。その後、テレビを観ようと誘われたので行ってみると、なんと日本の「ナルト」でした。身近なところで日本の発見でした。

【3日目】

電車でサンディエゴへ向かいました。電車の中でベンと兄のエイディと話をしたのですが、その時初めて自分が英語で楽しく会話できていると実感しました。サンディエゴでは、とても大きな戦艦や戦争の記録を見ました。そしてこの日の大イベントである野球観戦をしました。パドレスという地元のチームの試合でした。球場はとても大きくテレビで観るような人ばかりでした。ホームランが出たその瞬間の盛り上がりは凄まじいものでした。また、野球観戦しながら食べたホットドッグには驚きました。それは、パンとソーセージだけのものを渡され



☆サンディエゴ。迫力満点の戦艦前にて。



☆野球観戦。地元「パドレス」を応援！

て、それに玉ねぎやソースをセルフサービスで取りトッピングするという効率的で消費者にも嬉しいサービスだったからです。飲み物は予想通りビッグサイズでした。次にスーパーマーケットへ行きました。中はとても広く様々な食品が売られていました。そこで蜂蜜の味見をしましたがいへん香ばしい味でした。初めて知りましたが、アメリカでは気になる商品があると買う前に味見し、それをそのままレジで会計してよいということでした。その後行ったセブンイレブンでもセルフサービスが主であるという、日本との違いを発見しました。

小さな発見が多かった三日目の夕食には、なんとお米が登場。マグロとサーモンをスパイスで漬けた物をご飯にのせ、ソイソース（醤油）&わさびにつけて箸で食べました。日本のものと同じく美味しかったのと同時に、ホストファミリー全員が箸を器用に使っているのを見て、日本食の世界への広がりを感じ、また誇らしく思いました。



☆ホスト宅にて夕食会。最高！

【4日目】

午前中の乗馬体験後、昼食は「イン・アウト・バーガー」という店で本場のハンバーガーを食べましたが、予想通りの大きさと多量のポテト。付け合わせに唐辛子の酢漬けの様なものがあり、それをニックが「Good」と言って食べたので、私も研修生の壮太君と一緒に食べてみると一瞬で口の中が火の海になりました。



☆セブな乗馬体験しました♪

バーガーを満喫後、ずっと楽しみにしていたサーフィンの時間がやってきました。ビーチに着いた時の潮風の匂いとどこまでも続く水平線、あの光景は一生忘れないと思っています。インストラクターの指示に従ってサーフィンに挑戦しました。波に乗ってみると、意外に速くてタイミングとバランスをとるのが難しかったです。波に乗って立っている人もいたので、悔しくて何回もやっていると、1, 2回立てた瞬間があり、その時はとても嬉しくて、心の底から「よっしゃー」と思いました。サーフィンを楽しんでいる内に時間がどんどん過ぎ終了と聞かされた時は、まだまだやりたかったという名残り惜しさと満足感が相まってとても心地よかったです。



☆本場のバーガー
うまし！！

サーフィンの後は「Panniki Coffee」という店でティータイムです。そこでチョコレートパイやアップルパイ、ジュースやコーヒーにクリームを入れた甘い飲み物などを注文しました。パイは最初の五口ほどは美味しかったのですが、だんだんと甘さが酷くなってきました。私の感覚ですが、大きさも甘さもカロリーも日本のアップルパイの三倍程はあったのではないかと思います。それでも皆で頑張って完食しました。

ホームステイ宅へ帰るとベンが突然、学校の教科書を見せてくれました。とても厚みのある本で国は違っても勉強量は同じだと親近感が湧きました。さらに、スターウォーズやアメリカンコミックスのヒーロー達を本や漫画、フィギュアなどを使って説明してくれました。私も映画が好きなので、話がどんどん盛り上がりました。同じ趣味を持った同世代の人との会話はとても楽しかったです。



☆驚きのビッグピザ。
もちろん完食！

【5日目】

朝からビーチバレーをしました。サラサラした砂の上に裸足で入りプレーする、とても気持ちよく開放的でした。昼食はピザ、ビッグですごい迫力でしたが空腹だったので、あっという間に完食しました。食後はサンディエゴが一望できる山に行き写真撮影。景色もですが心地よい風が吹いておりとても気持ち良かったです。



☆旅の仲間たち。
サンディエゴの景色を背景に。

その後ホームステイ宅へ帰宅途中に憧れのスターバックスコーヒーに寄りました。迷うことなく、人生初のキャラメルフラペチーノを注文しました。想像どおりの美味しさで大満足。家に着くとベンがドラムで演奏をしてくれました。生演奏はとても素敵で、これまた満足。

【6日目】

朝、ベンのサッカーの試合観戦後、ジャパニーズフェスティバルが行われました。私は天草の食について紹介しました。大平先生に持ってきていただいたコッパ餅を配りました。皆さん美味しそうに食べていたので嬉しかったです。その後、お別れ夕食会までの間、ビーチへ行き海を満喫することができました。そして、とうとうホストファミリーとの最後の夕食。夕食後はバレーボールやフリスビー、シャボン玉をしました。「楽しい時間が終わらないでくれ。」と願いました。時間はあっという間に過ぎベンと毎日やっていたテレビゲームもこれで最後と思うと寂しくなりました。ずっと起きていたかっただのですが、睡魔には勝てず寝てしまいました。



☆ジャパニーズ
フェスティバル

【7日目】

ホストファミリーとの別れの朝。別れの寂しさと感謝の気持ちでいっぱいでした。私達のタクシ



☆エンシニタスの友人 ベンと一緒に。

ーが見えなくなるまで手を振ってくれました。そして、ロサンゼルスへ。

まず、ハリウッドです。ハリウッドスターの手形に手をはめたときは大興奮でした。次にユニバーサルスタジオハリウッドへ行きました。バタービールを飲んだり、ハリポッターやジュラシックパークのアトラクションに乗ったりと、とても活動的で楽しい時間でした。不思議と初日では絶対に行けなかった人混みの中や会計も難なく済ませることができました。

その夜はミヤコホテルに宿泊でした。夕飯は久しぶりのおにぎりとラーメン。美味しくて、懐かしい味でした。

【8・9日目】

スーパーでお土産を買い空港へ行きました。問題なくパスできると思っていた出国検査でなんと止められてしまいました。恥かしさと緊張の時間でしたが問題なく通ることができほっとしました。その後は成田空港目指して10時間ほどの飛行機の旅。着いた時は時差ボケでとても眠かったです。そのまま福岡空港へ移動しその晩は福岡市内のホテルへ泊まりました。

【10日目】

いよいよ天草へ帰る日です。帰りのバスの中では、今回の仲間と大変盛り上がり、疲れも感じず楽しい帰路でした。天草市役所に着き、バスを降りたとき、旅の終わりの寂しさも感じましたが、安堵の気持ちもありました。

私は今回、コミュニケーションの大切さを実感しました。初めは不安であった会話も積極的に行うことによって自然と会話ができるようになり、楽しい時間を過ごすことができました。また、自分の考えをしっかりと発信できるようになった様に感じます。エンシニタス市では日本との文化の違いを体感しました。私が良いなと感じた点は、道路にはゴミ箱が多く設置されており綺麗であること、朗らかな人が多いこと、そして家族思いであること。ホストファミリーもそれぞれが協力的であり、私も見習いたいと思いました。また、日本の食や、日常的に箸が使われていること、日本の漫画が知られているなど日本文化の外国への広がりを確認できたことはとても良い体験でした。今回の体験で私の視野は大きく広がり、私自身の自信にもつながりました。今回学んだ事、体験したことを皆へ伝え、また、私自身の今後の活動に活かしていきたいと思います。

最後に、貴重な研修の機会をくださった天草市の皆様、エンシニタスでお世話になったホストファミリー、ガイド、カメラマンの皆さん、大平先生、一緒に旅した仲間、そして先生方、両親には感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れずに今後生活していきたいと思います。

姉妹都市交流事業を終えて

稜南中学校 教諭 大平 具子

1 はじめに

今年度姉妹都市であるエンシニタス市に引率で行くことが決まり、自分自身の目標を2つ決めた。①子どもたちの心身の健康状態を把握し、元気に10日間を過ごさせること、②エンシニタス市との交流を深め、子どもたちとともに私自身も積極的にコミュニケーションを図ることの2つである。不安もあったが、私にとってこの10日間は大変充実したすばらしいものになった。そしてエンシニタス市の皆様にはたくさんのことに協力していただき、感謝の気持ちでいっぱいである。代表生徒の6名とともに私自身もたくさんのすばらしい体験をすることができた。

エンシニタス市は、大都市のロサンゼルスから2時間の場所にあり、町並みが美しいところであった。人口は6万人、それぞれの大通りに大型スーパーやレストラン等が建ち並び、大変生活しやすい町だと感じた。また、道路には20~30mごとにゴミ箱が設置されていたり、たくさんの人たちがエコバックを使っていらっしやったりと環境問題にもよく取り組んである大変美しい町であった。治安も大変よいところで、町の人たちも温かい方ばかりであった。トライアスロンが縁で交流が始まったわけだが、旧本渡市の頃からの交流から今年が29年目になる。私たちがエンシニタス市役所に着いた時、ホストファミリーの他に、今までこの姉妹都市交流プログラムでホームステイを受け入れて下さった皆さんがたくさん集まっておられた。天草に行ったことのある方もいらっしやった。彼らはみんな「天草はとてもいいところだ。」「エンシニタスもいいところだから楽しんで。」など親しげに話しかけて下さった。たくさんの人たちがたくさん笑顔で迎えて下さり、とてもうれしく思った。また、天草市を身近に感じていらっしやる方がたくさんいらっしやることにも喜びを感じた。

2 現地での活動

7日間の滞在の中で、多くの活動を計画して下さり、私たちはエンシニタス市で貴重な経験をすることができた。

- ・市役所訪問・・・市役所の皆様からの歓迎を受け、エンシニタス市長にあいさつし、中村市長からの親書を手渡した。議会や市役所内も見学することができた。エンシニタス市の市役所は日本とは違い、それぞれ個の部屋に分かれおり、それぞれの部屋で仕事をされていた。
- ・エンシニタス市内見学・・・市役所見学のあと、エンシニタス観光案内所で歓迎を受け、エンシニタス市の市街地を徒歩で移動したくさんの場所を訪れた。セルフ・リアリゼーション・ガーデンズにはたくさんの草花が咲き、池には鯉が泳い

でおり気持ちが落ち着ける場所であった。その後、オールドスクールというエンシニタス市内で最も古い学校の跡地を訪れた。教室内にも案内していただき、その当時の様子を知ることができた。教室には昔のエンシニタスの様子が写真や資料に残っており、歴史を学ぶことができた。最後に、ポートハウスという実際に使われていた船を家として使っていると有名な場所を訪れた。運良く家の中まで見る事ができた。中は大変きれいにそして大切に使われていることがよく分かった。

- ・サンディエゴ市内見学と野球観戦・・・7時56分の列車に乗り、約50分かけてサンディエゴ市へ到着した。サンディエゴ市は大都市で、高いビルに囲まれた中に海がありエンシニタス市とは違った風景であった。ヨットハーバーにはたくさんの人たちがゆったりとした雰囲気散歩や観光をされていた。そしてペトコパーク野球場へ到着。今回はエンシニタス市の方々の計らいで、試合前のグラウンドに特別に入ることができた。初めてのメジャーリーグ観戦にとっても興奮していた子どもたちだったが、試合前のグラウンド入場にはその何倍もワクワクしたことと思う。テレビで見るとような雰囲気に私自身も圧倒された。試合はサンディエゴ・パドレス対ミネソタ・ツインズであった。メジャーリーグの試合は観客と選手全員が盛り上げ、ファンサービスも高くとても楽しかった。ホームランも2本見ることができ思い出に残るすばらしい一日だった。
- ・乗馬体験・・・乗馬はアイスランドの馬を飼っていらっしゃる牧場で活動をさせていただいた。2頭の馬の体をブラシで丁寧にブラッシングしたり、餌をあげたりしてその後乗馬を行った。どの子どもたちも、怖がることなくうまく乗馬でき、付き添いなしでも乗れるようになった。とても貴重な体験をすることができた。
- ・サーフィン体験・・・ムーンライトビーチでサーフィン体験を行った。ムーンライトビーチはエンシニタス市役所から大変近く、平日も多くの人々が訪れる場所である。天草の海との違いはその広さで、海の他には何も見えない空と波のみの広々とした海が広がっていた。インストラクターの方の指導を受け、早速体験を行った。最初はなかなかうまくいかなかったようだが、練習を重ねるうちに少しずつボードに乗れるようになってきた。早い生徒は20分くらいでボードの上に立てるようになり、6名全員が波に乗れるようになった。出発前から生徒たちが最も楽しみにしていた活動だったので、またやってみたいという声が多く聞かれた。インストラクターの他に市役所の方にもサーフィン体験の手伝いをしていただき、とても感謝している。
- ・ビーチバレー・・・広いムーンライトビーチの中にはビーチバレーのコートもある

った。そこでインストラクターの方の講習を受け、練習・試合を行った。ホストシスターやブラザーたちも参加し、練習からみんなで一生懸命に取り組んでいた。その日は夏休みのキャンプ参加の子どもたちもいて、一緒に練習を行った。生徒たちと同世代の子どもたちと交流ができたこともとても良い体験になったと思う。

- ダブルピークパークでのハイキング・・・ダブルピークパークは、とても眺めの良い場所であった。上からの景色はとてもきれいで町全体を見渡すことができ、気持ちの良い風が吹いていた。生徒たちも思い思いの写真を撮りあったりして自由な時間を過ごすことができた。
- ジャパニーズフェスティバル・・・日本文化を学ぶ外国人の発表がエンシニタス図書館で行われ、私たちもそれに参加した。ステージ上では、本格的な和太鼓の発表や茶道等の発表が行われていた。その中に天草市とエンシニタス市の姉妹都市交流コーナーが図書館内に設けられており、天草市の代表として4つのことを発表することができた。エンシニタス市に出発する前に1日事前研修があったが、その時にこのフェスティバルで発表したいことを考えてもらっていた。今回は①日本舞踊、②天草の食べ物、③天草の名所、④牛深ハイヤの4つを発表することにした。子どもたちが紹介したいことをエンシニタスの皆様の前で発表することができたことは、とても自信につながったように思う。英語やジェスチャー、実物を持ってきたりして言いたいことを一生懸命伝えていた。エンシニタスの皆さんも、子どもたちの英語や発表を一生懸命に聞いて下さった。発表後は子どもたちに質問をして下さったり、一緒に写真を撮ったりととても充実した時間となった。
- お別れ夕食会・・・ピレッジパーククラブハウスに生徒たち、ホストファミリー、エンシニタスの担当者のニック、マセルが集まり、それぞれ食事を持ち寄り、お別れ夕食会を行った。子どもたちはサッカーやバレーをしたり、おしゃべりをしたりしてホストブラザーやシスターたちと一緒に楽しんでいた。短い期間であったがホストブラザーやシスターたちも一緒にたくさんの活動に参加してくれ、どんどん絆が深まっていったように思う。とても良い時間を過ごすことができた。

3 生徒たちの様子

10日間の研修で、生徒たちは大きく成長したように思う。事前研修では英語はあまり得意ではないと不安げだったが、エンシニタスに着き本場の英語を聞いて、コミュニケーション力が一番大切だと気づいたことで積極的に行動することができたようだ。どの活動にも生き生きと参加し楽しそうであった。また、ホストファミリーの温かい心遣いは生徒たちの心を安心させ、よりアメリカでの生活を充実させ

たように思う。

お別れ夕食会の時に、どのホストファミリーも「子どもたちはとてもいい子たちだった。いつもアクティブで私たちも楽しかった。」とおっしゃっていただいた。ホストブラザーやシスターたちとも日を追うごとにわかり合えるようになり、最後の日は別れを惜しむ声が多く聞かれた。また、6人の生徒同士のつながりも大変強く、様々な活動で支え合い、協力し合って取り組む場面が多く見られた。10日間元気に、積極的に活動できたことはとても良かったと思っている。

4 終わりに

この10日間の研修で私が一番感じたことは、エンシニタスの皆様の温かさであった。私自身もエンシニタスの人たちと様々な活動にとっても楽しく、積極的に行動することができた。特に毎日お世話になったエンシニタス市役所のニックには大変感謝している。いつも生徒たちに笑顔で接し、生徒たちと楽しい英語の会話で場を盛り上げていただいた。昨年天草市を訪問したこともたくさん話題に出てきたが、天草とエンシニタスのますますの交流を楽しみにされていることもよく分かった。私自身も天草に住む者として、姉妹都市であるエンシニタス市を身近に感じる事ができるよう今回学んだことをできるだけ多くの方に伝えていきたいと思う。

6名の代表生徒にとっても私自身にとっても学ぶことの多い10日間の研修になった。今回の貴重な体験ができたことに対し心から感謝したい。このような機会を与えて下さった天草市やすべての関係者の方々に深く感謝申し上げたい。



Tomoko Ohira
English teacher
Ryonan Junior High School
Amakusa

Sister City Educational Exchange Project
Report on the Student Delegation to Encinitas; Sister City of Amakusa

1 Introduction

After I became a chaperone of Sister City Educational Exchange Project for this year, I decided on my two aims. First, to make sure all 6 representative students from Amakusa are doing well every day and that they have a wonderful time in Encinitas. Second, that I communicate actively with students to deepen their engagement with the people in Encinitas. Until the day we left, I was very nervous. However, these 10 days were very precious experiences for me. And thanks to many people in Encinitas, I could have a wonderful time. I would like to express my appreciation to them.

Encinitas is a beautiful city. It takes about two hours by car from Los Angeles. Its population is about 60 thousand, and each big street have a few supermarkets and restaurants. I feel it is very comfortable to live in Encinitas. Also, they are working on their environmental problems. We can see many trash cans. (every 20 ~30m) They always use eco-bags. The security maintained in this area is very good and the people are very warm. The relationship between Encinitas and Amakusa were started by a triathlon. This year is the 29th exchange project. So when we arrived at the Encinitas City Hall, many people came to meet us. Some of the people who welcomed us had been in Amakusa as students or chaperones of the delegation. Some of them had received people from Amakusa as their host family before. They all said to us with a smile ,“ Amakusa is a very good city.” “ Let’s enjoy Encinitas life.” So many people welcomed us very warmly. I was very glad. And I felt pleasure because they felt like a neighboring town.

2 Activities in Encinitas

The people in charge of this program made a lot of wonderful activities so that we could have a great time in Encinitas for seven days.

• Visit to Encinitas City Hall

We were welcomed by the people who work in Encinitas City Hall. We met the mayor and gave a letter from Mr. Nakamura, the mayor of Amakusa City. We could look around the city hall, too. Encinitas City Hall is divided into room. So each staff member of the city hall has their own room and works there.

• Encinitas City tour

After visiting Encinitas City Hall, we were welcomed at the Encinitas information

desk. We walked around in downtown Encinitas and visited many places. In the Self Realization Gardens, there were a lot of beautiful flowers. There were a lot of carps in the pond, too. Many people were meditating and composing themselves. Then we visited the Old Schoolhouse, the oldest school in Encinitas and learned about the history of Encinitas. We also visited the Boat Houses. They were used as real boats before. They are very famous places in Encinitas. Luckily, we could see inside the Boat House. I felt it is well looked after and the owner treats it with care.

- San Diego tour and watching the Major Leagues

We got on the train in the morning. We arrived at San Diego after riding on the train for about fifty minutes. San Diego was a big city. It was surrounded by many tall buildings, but we could still see the sea. It was a different view with Encinitas. There were a lot of people there. At last we arrived at Petco Park. By the kind office of Encinitas, we could enter the grounds before the game. All the students were very excited about watching the Major Leagues, but seeing the grounds before the game made them much more excited. It was like on TV. The game was the San Diego Padres versus the Minnesota Twins. During the Major League game, the audiences and players cheered each other on, energizing everyone. We also got to see two homeruns. We had a great time.

- Horseback riding

There were two horses from Iceland at the farm. We fed and brushed the two horses. After that, the students enjoyed going horseback riding. They were not afraid of doing it and enjoyed that rare experience.

- Surfing

We went to the Moonlight Beach and enjoyed surfing. Moonlight Beach is close to the Encinitas City Hall and many people come here every day. It was much bigger than any beaches in Amakusa. We were taught how to surf by instructors, and instantly tried it. For all the students, it was their first time, so they couldn't stand on the board at the beginning, but gradually they progressed and some of them could handle it pretty well after about 20 minutes. All the students could stand on the board. Surfing was the activity that the students had waited for a long time to do. They said, "I want to try again." I appreciate that some City Hall's staffs and the instructor helped us.

- Beach volleyball

There were beach volleyball courts at Moonlight Beach. At first we practiced beach volleyball under the instructor's advice. The students' host brothers and sisters joined it. Then they played a game against some local boys and girls. They enjoyed it very much.

- Double Peak Park

Double Peak Park was a very good place. The view from the hill was wonderful and we had a comfortable breeze. From there, we could look over the whole of the city. The students took some pictures of themselves posing in many ways.

- Japanese Festival

Many Americans are learning about Japanese culture in Encinitas.

We had a good opportunity to look at them. Wadaiko and Sado were introduced on the stage. At the Japanese Festival there was our sister city booth. The 6 students presented four things, Japanese dance (Nihon buyo), the foods of Amakusa, the beautiful places of Amakusa and the Ushibuka haiya. Before visiting Encinitas, we had a meeting in Amakusa where they thought about Amakusa. This presentation made them stronger. They tried to communicate with easy English, gestures, objects and so on. Many people in Encinitas asked them about Amakusa and took pictures with the students. We had a very wonderful time there.

- Farewell party

We had a farewell party at Village Park clubhouse. The students, their host families, Nick and Marcel got together with some dishes.

We enjoyed having delicious food, talking, playing soccer and volleyball. I felt that they made a good relationship through the six days.

3 Students' growth

I think the 6 students have grown in these 10 days. Though they worried about their English abilities, they noticed that communication is important! Then they could be proactive. Their expressions were lively and they enjoyed all activities. The friendly behavior and kindness of their host families made them relaxed and enjoy their time there more.

At the farewell party, their host family said to me, " They were very good children. They were always active and enjoyed their homestay." They could gradually understand their host brothers and sisters. When they left Encinitas, I heard that they said, " I want to stay more." The relationship among the 6 students strengthened and they cooperated and helped each other in many situations. I think that acting positively for 10 days was very good for the 6 students.

4 Conclusion

The thing I felt during my home stay was the warmth of the people living in Encinitas. I enjoyed many activities with them and being active. I especially appreciate Nick , the supervisor of the City of Encinitas. He always talked to students with a smile. He went to Amakusa last year. He is looking forward to more exchanges between Encinitas and Amakusa.

We'd like to show everyone our experiences of Encinitas City and connect more tightly as a sister city. I hope both cities will have more open relations from now. I want to act as a bridge between Encinitas and Amakusa.

These 10 days were a very precious time for the 6 students and me. We got many opportunities to experience many American things during our exchange project. We appreciate all the people involved so much.

AUG 1st



AUG 2nd



AUG 3rd



AUG 4th



AUG 5th



☆事前市長訪問 【平成29年7月24日（月）】



☆帰国報告会 【平成29年8月17日（木）】







天草市教育委員会

教育総務課